



防火せたがや

世田谷地域
28号



【浸水した車内から救命ボートを使用して人命救助をする訓練】

区では、令和2年8月26日(水)世田谷公園噴水広場・けやき広場周辺において、令和2年度世田谷区合同水防訓練(以下、「訓練」という)を実施しました。訓練は、水災時の初動対応の重要性の再認識および地域防災力の向上を目指して東京消防庁、世田谷区、消防団が連携して、毎年実施しています。今年度は東急電鉄の職員も訓練に参加し、地下鉄入口の浸水防止訓練「都市型水防工法」を実施しました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訓練参加者及び見学者を例年の半分程度とし、検温や来賓席のソーシャルディスタンスを確保するなど、徹底した感染対策を講じた上で実施しました。

訓練を通して、風水被害を最小限に抑えるためには関係団体との連携が必要不可欠であると再確認できる充実した訓練となりました。

感染症対策を講じた上で
合同水防訓練を
実施いたしました

◆水防工法ご紹介

◆改良積土(ツミド)のう工法

積土のうに防水シートをかぶせ、堤防などで水あふれ(越水)を防ぐ工法です。



◆都市型水防工法

ごみ袋や段ボールなどの身近なもので、家庭等への浸水を防ぐ工法です。



◆鋼製かまつき工法

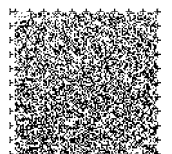
噴出箇所を鋼製釜段で囲い、堤防の内側で漏水した箇所の拡大を防ぐ工法です。



《発行者》 世田谷地域区民防災会議
《発行日》 令和3年3月 第28号
《事務局》 世田谷総合支所地域振興課
地域振興・防災
電話 03-5432-2831

【バックナンバー】

<https://www.city.setagaya.lg.jp/>
世田谷区 HP にて「防災せたがや 世田谷地域版」で検索
世田谷総合支所1階14番窓口でもご覧いただけます。



回
覧

防災研修会を実施しました

令和2年11月11日（水）に三茶しゃれなあどホール集会室（オリオン）にて防災区民組織及び防災リーダーの方々を対象に防災研修会を開催しました。今年度は感染症対策の観点から、募集人数を制限し受付時には検温と手指消毒を徹底いたしました。



講師として、工房どるふいーむ代表の依田真広氏をお招きし、「災害時の避難所運営を考える～被災地支援の経験を通して～」というテーマでご講演いただきました。被災地でのご経験をもとに、世田谷区で起こりうる災害や避難所で想定されることなどを、被災地と照らし合わせながらお話いただきました。依田氏はシンテイ警備としても、日頃より世田谷区の防災訓練でご指導いただいております、より実践的なアドバイスをいただくことができました。



☆参加者アンケート☆

- ・ 避難所が安全でないこと、自分の家の安全をまず考えるなど、今まで考えていなかったことを気づかせていただいた。
- ・ 避難所運営訓練では、運営委員を中心に訓練しますが、大半は年長者。若い小中高生の活用については考えてもみなかった。大変良いアドバイスをいただきました。

震災時指定避難所(小中学校)に感染症対策セットが納入されました

令和2年度、震災時指定避難所の防災倉庫に新型コロナウイルス等の感染症対策セットが納入されました。避難所での受付時や消毒作業時などで使用することを想定しています。

※数に限りがあるため避難される方ご自身でも、マスクや手指消毒液、体温計などをお持ちください。

◆感染症対策セット

品目	一箇所あたりの数量	品目	一箇所あたりの数量
手指消毒剤（1L）	10本	スプレーボトル（500ml）	10本
手洗い用せっけん液（1kg）	12本	使い捨て手袋（M・L）	各200枚
マスク	500枚	使い捨てエプロン	50枚
電子体温計	2個	フェイスシールド	50個
非接触型電子温度計	2台	ペーパータオル	2,000枚
塩素系漂白剤（600ml）	3本	ゴミ袋	100枚

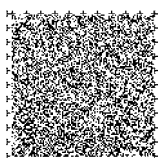
救命講習会開催

令和2年9月18日（金）、10月9日（金）に上級救命再講習会を世田谷消防署にて開催しました。

防災区民組織及び区立小中学校のPTA

の方々を対象に実施し、心肺蘇生やAEDの使い方、止血法などの応急手当を学んでいただきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、人数を制限して実施しました。



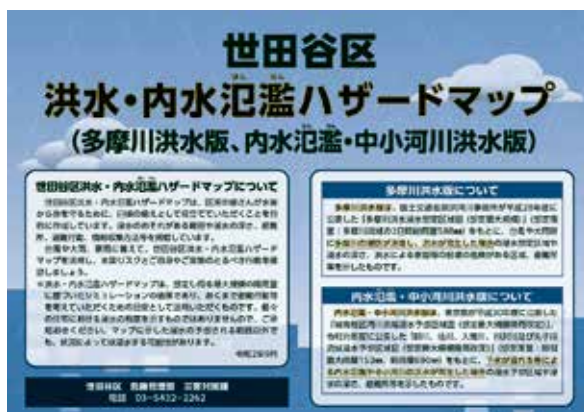
世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ改定

はんらん

近年、九月・十月には台風や大雨による被害が全国各地で発生しています。

令和元年十月には、台風十九号によって世田谷区の玉川・砧地域でも多数の浸水被害が発生しました。区では、令和二年九月に「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」を改定し、区内全戸に配布いたしました。

今回の改定では、東京都が改定した最新の浸水想定区域図を反映し、情報面についてもより分かりやすくなるように「水害時避難行動判定フロー」や「台風接近時のタイムライン（警戒レ



台風など、水害にも地域で備える—— 世田谷地域、令和2年度から 水害時避難所を5施設設置

※小中学校ではありません

ベル五段階」、「水害時の情報入手方法」などを掲載しています。ぜひ早めの行動で、風水害に備えましょう。

世田谷地域では五つの施設に感染症対策物品を配備し、職員による訓練を実施

世田谷地域では、池尻区民集会所・宮坂区民センター・経堂地区会館・下馬地区会館・上馬地区会館の五つの施設を水害時避難所として開設し、台風接近・通過当日（暴風雨前）に避難する方を受け入れます。

令和二年度は新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、震災時に避難所となる区立小中学校と同様に、水害時避難所にも手指消毒液や非接触型温度計、利用場所の消毒セットなど「感染症対策セット」を配備し、感染対策を徹底するようにしています。

開設運営を行う区職員『拠点隊』を対象に、運営マニュアルの確認や各施設の案内を行うなど、事前の訓練も実施しました。

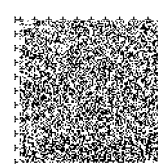
令和二年度は、幸い水害時避難所を開設する状況には至りませんでした。区では、引き続き災害対策へ全力で取り組んでまいります。

「避難」にもいろいろある時代です

避難所に行くことだけが避難ではありません。避難という、「小中学校等の避難所へ行く」というイメージが強いですが、避難所を利用する以外にも様々な避難の方法があります。むしろ、避難所へ行くよりもご自身やご家族に適した避難の方法があるかもしれません。また、水害時避難所において、新型コロナウイルス感染症への対策も重要です。

様々な「避難」の種類

- 自主避難** ご自身で宿泊施設等を確保して避難する
- 縁故避難** 倒壊や浸水のおそれがない家族や親戚、知人の家に避難する
- 在宅避難** 自宅に倒壊・浸水の恐れがない場合は、避難所を利用せずに自宅で過ごす
- 垂直避難** 水害時に浸水しない高さの二階以上などに避難する

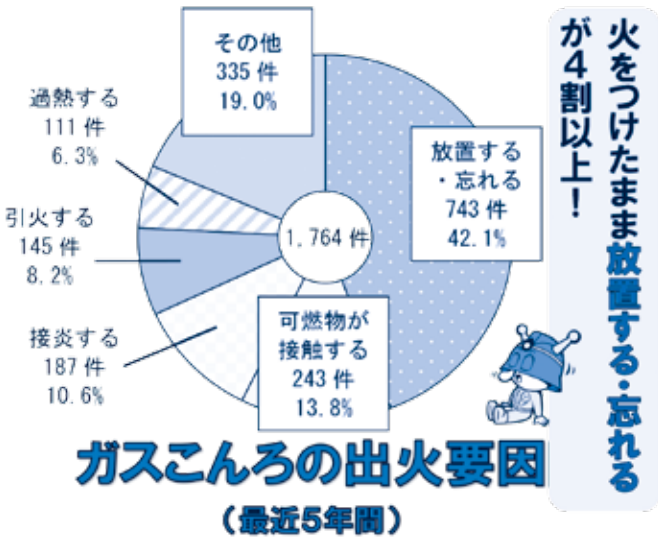


世田谷消防署からのお知らせ

危険 ガスこんろの火災に気をつけよう！ 

出火原因TOP3
(最近5年間)

1位	ガスこんろ	1,764件
2位	たばこ	1,611件
3位	放火(疑い含む)	1,383件



☆ガスこんろを使用する場合の注意点☆

- 1 調理中はガスこんろから離れないようにしましょう。
- 2 ガスこんろの周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 3 防災製品のエプロンやアームカバーを使用しましょう。
- 4 炎が鍋底からはみ出さないように調節しましょう。
- 5 安全機能(SIセンサー)付きのガスこんろを使用しましょう。
- 6 ガスこんろの使用経験が少ない人は、取扱い方法をよく確認しましょう。

詳しくはこちら



鳴りますか？住宅用火災警報器 交換目安は10年です！

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。設置年月を確認し、設置後10年を目安に本体の交換をしましょう。

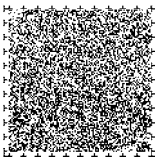
詳しくはこちら



消防団員募集中！～みんなで守ろう このまちを～

消防団は火災などの災害活動をはじめ、応急救護の普及活動や災害を未然に防ぐための啓発活動など、幅広い活動を行っています。会社員や自営業、学生や主婦など様々な年齢層の方々が地域に密着した活動を行っています。

詳しくはこちら

問合せ先 世田谷消防署 防災安全係 TEL：03-3412-0119

